



学校だより

夏休み号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



有意義な夏休みを

校長 西山 久美子

4月からの3か月半、子ども達は、仲間とともに学習や様々な体験活動を通してたくさんの学びをしてきました。元気いっぱいに登校してくる様子や、友達と楽しそうに遊んでいる姿、授業中の真剣な顔にも成長を感じます。保護者の皆様には、温かいご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、学校説明会でもお伝えしたように、子ども達には「当たり前のことを当たり前でできる子」になってほしいと思っています。この3か月半、あいさつができる、掃除に一生懸命取り組む、時間を守る等、日常生活での当たり前のことがしっかりできる子ども達の姿がたくさん見られました。また昨年からは、上星川の合言葉「まであ（マスク・手洗い・間をあける）」も加わり「新しい当たり前の行動」になりました。明日からは、新しい生活様式と言われてから2回目の夏休みを迎えます。今年は、まん延防止等重点措置期間と重なっておりますが、夏休みも凡事徹底、当たり前のことに誠実に取り組み、自分の健康・命を守る生活を続けてください。その中でも、できそうな体験をしたり、おもしろい本に出合ったりして、お子様の心がさらに豊かになるようなすてきな時間を過ごしてほしいと願っています。8月27日には、一回り大きく成長した子ども達の元気な顔を見られることを楽しみにしております。

有意義な夏休みに向け、次にあげる3点についてご配慮いただければ幸いです。

- ① 家族の一員としての仕事をすることを通して、気持ちのよい夏休みに。
- ② 自分で計画した課題に取り組み、「がんばったぞ」という思いが実感できる夏休みに。
- ③ 自分の健康について考え、安全な行動と規則正しい生活ができる夏休みに。